

よくある義歯のトラブルとその対処

咬めない、入らない、痛みがとれない

何度試適しても毎回前歯臼歯の排列が変わって咬めない。
排列がへたなのでは？

試適時は正しく咬んでいたのに完成時は咬めなくなった。
重合がだめなのでは？

歯科技工士の仕事内容が疑われ、謝罪することを永年繰り返しています。

仮に、歯科技工士が正しく製作できているとしたら、他に原因があること
になります。

患者様が、咬合器では再現できない広い範囲か、数カ所で咬合しているの
ではないでしょうか？

患者様に不随意的な下顎運動、前咬み、横咬み、悪習癖、関節円板の転移
などがあればその可能性が高くなります。ゴシックアーチ検査で調べる
ことができます。このような患者様は年々増加傾向にあり、下顎遠心咬合
の患者様の総義歯に多く経験しています。残存歯のある部分床義歯の場合
も少なくありません。

歯科技工士は正しく作業した証明ができれば、患者様の原因とわかります。
正しい対処法、解決法をご提案できます。

印象採得した模型、咬合採得した咬合床を残し、写真の技工録があれば
信用していただけるのではないかと考えています。本当の原因をつき
とめ、患者様の不信感を防ぎ、先生に信頼していただくためです。

pmc デンチャーワークスでは、トラブルの際、技工録の資料のご請求の
先生にはご提供しています。

試適ではスムーズに入ったのに完成したら義歯が入らない。
クラスプを变形させられたのでは？

原因は歯科技工士にあることが多いと思います。義歯は長い間、作業用模型は製作時に重合で使用され、壊され、義歯のみで納品する慣習があります。完成時に模型に装着できず、クラスプや着脱の確認ができません。義歯床がアンダーカットにあると、シテキ時のワックスがレジンになった時に入らなくなることがあります。

有床義歯も歯冠修復物のように、模型に装着して納品すれば解決します。義歯の重合精度を高めて、リリーフや粘膜の微細なアンダーカットを修正しないと、義歯床は適合しません。pmc デンチャーワックスでは、模型に完成義歯を装着して納品しています。

- ※ ノンメタルクラスプデンチャーは 100%模型装着納品です。
- ※ 金属床義歯は正規価格製作の場合 100%模型装着納品です。
金属床義歯の宅急便割引、納期調整割引の場合はオプションです。

粘膜面を何回も調整しているが痛みがとれない。
重合で粘膜面を不適合にされたのでは？

通常、義歯床の精度が原因の痛みは PIP やフィットチェッカーなどで原因箇所を調整します。しかし、おさまらないことがあります。このような時は、人工歯の咬頭が干渉しないように咬合高径をワックスブロックで挙上、タッピング、再現性を確認、チェックバイト採得後、咬合器にマウントします。咬合器上で再調整すると早期接触部位が見つかり調整で改善することがあります。粘膜面以外も痛みの原因になることがあります。